

十二月三十日
大正十五年
一月三日

争議団本部に於て演説會開催約百五十名本部に宿泊
午前四時年賀と稀し約百五十名鉦業所に至り示威運動をふし労働
課長社宅附近にて暴行に出でんとし数名検査される
小倉理事、佐友男、野田に大矢省三等闖入暴行す

一月三日

加藤勤十外組合員約百三十名端出場部落に到着し示威運動をふさ
むとす
警官の諭旨に依り中止す改善會員の組合切崩運動に對抗しビラを
撒布す

一月四日

被解雇者大森某外四名大坂より来援の高橋某と共に鉦業所長と労働
課長とに面会を求めて拒絶せらる労働課人事係長及保安課長に
面会し解雇通知書をつき戻す退去の際ビラ一枚撒布す夕刻組
合員と改善會員と衝突す

一月五日

加藤勤十大坂に帰る

一月六日

午後一時頃より組合員約四十名發電所上手ふる石ヶ山丈に雪見と
稀し集合せんとしたるが解散を命ぜらる

一月七日

鈴木會長より激励電報あり
大坂聯合會より資金一千円送り来る、玄米百五十俵を求め車に積
み組合員約百三十名示威運動をふす

一月八日

演説會開催、加藤勤十帰山

一月十日

労働総同盟争議団本部と大坂に臨時移轉し十六日迄鈴木文治策動
を開始す

一月十一日

午前八時三十分労働課長は東平方面より徒歩下山の途中折柄一本
松部落に帰山の途にありし組合員十二名と出會し組合員等は全
課長に面會を求めたるも隨行の牛島某のため阻止さる組合員
川田某道路より三間位下にヒリ落ち擦過傷を負ふも自己の過失ホ
リ

一月十二日

総同盟本部より望月源次等来援す

一月十三日

総同盟より金五百円、和歌山製杖組合より百三十円争議団本部に
送金あり

一月十四日

改善會員と衝突す

一月十五日

争議団本部に於て演説會開催聴衆約百名

一月十七日

罷業労働組合員妻女我勝新頼参詣團六十名一本松部落に入らんと
し佐友備員に阻止せらる一行中土居利一書ヤクの幸倒事件あり、
佐友備員より暴行を受けたるため大りと傳へらる

一月十八日

前日来援の総同盟幹部藤岡文六帰阪